



希望を灯す町づくり！

有田町議会だより

目次

- ◆ 令和7年度一般会計補正予算(第5号)
1843万円を増額補正し141億1867万円に P2～
- ◆ 補正予算のピックアップ P3～
 - ①物価高騰対応重点支援事業 770万円
 - ②農地農業用施設災害復旧事業 7330万円
- ◆ 常任委員会報告 P4～
- ◆ ここが聞きたい！町の課題を徹底討論！13人 P7～
- ◆ 各種報告（特別員会その他） P13～
- ◆ 総務常任委員会視察報告 P15

令和7年9月議会
No.74

新嘗祭献上米抜穂式
9月21日撮影（北ノ川内）
令和7年10月31日発行

令和7年9月
議会議案の
審議結果
(一部抜粋)



議案番号	提 出 議 案	審議の結果
議案第47号	令和6年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定について 一般会計と特別会計を含め、歳入203億8968万円、歳出197億4639万円、 差引残高6億4329万円。	賛成全員
議案第50号	有田町農林事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例について 国の農業水路等長寿命化・防災減災事業を活用して農業用施設の改修工事を行 う場合に、受益者から事業費の一部を分担金として徴収するため、現行条例 の一部を改正する。	賛成全員
議案第51号	有田町営住宅条例の一部を改正する条例について 老朽化等の問題により入居募集を停止して空室となっている、中樽町営住宅の 1号棟と2号棟の計24戸について用途廃止にするため、現行条例の一部を改 正する。	賛成全員
議案第52号	令和5年度社会資本整備総合交付金事業町道南原原宿線橋梁上部工工事請 負契約の変更について 現地調査の結果、工事内容の変更が必要であると判明したことや、資材単価・ 労務単価の上昇があったことから、設計変更を行う。当初契約額2億6981万 円に、585万円を増額し、2億7567万円に変更する。	賛成全員
議案第53号	令和7年度有田町一般会計補正予算（第4号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億7995万円を増額し、141億24万円と する。	賛成全員
議案第54号	令和7年度有田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ8492万円を増額し、24億4154万円とする。	賛成全員
議案第55号	令和7年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ572万円を増額し、7億4388万円とする。	賛成全員
議案第56号	令和7年度有田町介護保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ7058万円を増額し、22億8224万円とする。	賛成全員
議案第57号	令和7年度有田町公共下水道事業会計補正予算（第2号）について 収益的収入を6億6721万円、支出を5億7457万円に改め、資本的収入を 1億5371万円、支出を4億8974万円に改める。	賛成全員
議案第58号	令和7年度有田町農業集落排水事業会計補正予算（第1号）について 収益的支出を7670万円に改め、資本的支出を3098万円に改める。	賛成全員
議案第59号	令和7年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算（第1号）について 収益的支出を2億8840万円に改め、資本的収入を1億3108万円、支出を 1億9263万円に改める。	賛成全員
議案第60号	令和7年度有田町水道事業会計補正予算（第2号）について 収益的収入を4億7155万円、支出を5億949万円に改め、資本的支出を 1億9644万円に改める。	賛成全員
議案第61号	令和7年度有田町一般会計補正予算（第5号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1843万円を増額し、141億1867万円と する。	賛成全員

令和7年度補正予算ピックアップ

◎物価高騰対応重点支援事業 770万円 (国庫支出金 770万円)

① 陶土値上対策支援事業補助金 450万円

令和7年8月より磁器の原料である陶土価格が25%上昇。
陶土価格高騰の影響により、陶磁器の生産コスト・卸値ともに上昇し、小売価格に転嫁せざるを得ない状況にある。そのため窯業関係者の負担軽減と急激な高騰を抑えるため、陶土値上げ分の一部助成が行われる。

- ・実施主体：佐賀県陶磁器工業協同組合
- ・助成対象：令和7年8月から12月（5カ月分）に支払った価格改定後の陶土代
- ・助成対象額：陶土購入費のうち、値上げ分の2分の1（値上げ分を25%とみなす）



② 物価高騰対策クーポン券発行支援事業補助金 320万円

陶土価格の値上げ分は小売価格に転嫁せざるを得ない状況にあるため、陶土値上対策支援に加えて、クーポン券発行支援事業も同時に行われる。お買い物のお得感を感じてもらい、購買意欲の低下を緩和して売り上げ減少を軽減する目的で行われる。

- ・実施主体：有田焼卸団地協同組合（アリタセウ）
- ・発行期間：令和7年12月1日（月）～令和8年1月31日（土）
- ・使用期間：令和7年12月1日（月）～令和8年1月31日（土）
- ・発行基準：2,000円の買い物につき1枚（500円）を配布。
- ・一人当たり各店舗配布可能枚数：20枚（10,000円）まで

◎農地農業用施設災害復旧事業 7,330万円 (県支出金 5,864万円、分担金 733万円、一般財源 733万円)

本年5月から7月の豪雨により、被害を受けた農地および農業用施設の災害復旧工事を行う。



9月定例議会委員会審議

産業建設

常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 手塚 英樹
副委員長 諸隈 洋介

▼令和6年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

手塚委員 リサイクルプラザの状況は。

住民環境課参事 受入れは計画通りだが、オガクズとしての出荷は、養鶏農家は病気が発生して需要がない。肥育牛農家からは配達して欲しいとの要望があり、業者をお願いしている。



▲リサイクルプラザ

農林課長 農林水産業費の令和6年度決算額は4億1190万円である。一番大きい事業は、中山間地域等直接支払制度事業6011万円で、町負担は27・5

樋渡委員 西地区の農業

用ため池に水草が広がっている。浚渫事業などに補助があるか。

建設課長 緊急浚渫推進事業(農業用ため池)

があり、各地区に要望を聞き、取り組んでいる。

農林課長 多面的機能支

払交付金事業の維持活動の中で、ため池の草刈りも行っている。

岩尾委員 農林水産業に

ついて大きな予算組みをしている事業は。

農林課長 農林水産業費

%である。他に多面的機能支払交付金事業1453万円で町負担は25%である。

▼令和5年度社会資本整備

備総合交付金事業町道南原原宿線橋梁上部工事請負契約の変更

松尾委員 物価スライド

等で金額を上げると聞いた。内容の説明を。

建設課長 契約締結後12

カ月を経過した後、賃金水準または物価水準の変動により、請負代金が不相当となったと認められる場合、請負代金の変更を請求できるとされている。その請求がなされた。

▼令和7年度有田町一般会計補正予算(第4号)

岩尾委員 未来へつなぐ

有田焼支援事業の内容説明を。

商工観光課長 物価高騰

を踏まえて6月補正で計上した支援事業は、二次募集まで終わり、



▲天草陶石採掘場

78件、1923万円の申請があった。申請者は個人商店や窯元・商社が72社、組合・団体が6団体で、特に申請で多かったのは、展示会や商談会の費用等である。

岩尾委員 物価高騰対応

重点支援事業の内容説明を。

商工観光課長 陶土代が

25%値上げとなったため急激な価格転嫁を抑え、販売促進を図る目的の補助金である。佐賀県陶磁器工業協同組

合へ450万円、有田焼卸団地協同組合へ320万円の補助である。

▼令和7年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(1号)

松尾委員 料金改定に向

けて審議会を立ち上げる計画は。

上下水道課長 下水道事

業と水道事業を併せた4事業の審議会を予定。今年度内に問題点を洗い出し、来年度には結論を出したい。

文教厚生

常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 4人)

委員長 松永 俊和
副委員長 梶原 貞則

▼令和6年度有田町一般会計決算認定及び特別会計決算認定

梶原委員 避難行動要支援者対策事業で、災害時の要支援者数は。また、名簿掲載の同意を得られた人数は。

また、同意を得られていない方へは今後どう対応するのか。

健康福祉課長 令和7年4月現在、対象となる要支援者は615人、そのうち名簿掲載の同意を得られた方は434人である。今後できる限り名簿掲載の同意を取っていききたい。

梶原委員 通いの場などにおける健康教育・健康相談について、参加者の増加理由は。

健康福祉課長 各地区で実施されている通いの場、サロン、ゆいたんでの脳トレ教室等において、ベジメーター測定や健康教育、相談対応を実施したことにより、参加者が増えた。

松永委員 敬老会等事業助成金として、75歳以上の方一人あたり1000円を区に対し助成されているが、地区によって使い方が違う。町として統一していないのか。

また、同意を得られていない方へは今後どう対応するのか。



▲通いの場（泉山）

健康福祉課長 使い方については地区にお任せしている。

梶原委員 奨学金基金残高総額が約1億7900万円、運用総額が約6800万円で、約38%の運用率となっている。約1億1千万円が運用されていない。給付型奨学金、償還に対する補助等、少子化対策も考慮して見直しが必要ではないか。

教育長 貸付額の減少には少子化の影響があると考え。給付型、少子化対策等、総合的に検討していかなければならぬ。償還に対する補助は何を目的としてやっているのか、早急に方向性を出すべきと考えている。

▼令和7年度有田町一般会計補正予算第4号

浦川委員 赤坂球場施設管理事業の工事費用が1150万円と高額であるが、説明を。

生涯学習課長 雨が降った際、両外野のファウルライン部分に水が溜まるため、人工芝を施工して、水溜まりを解消する工事である。スポーツ施設は土木会社での対応が難しく、専門のスポーツ施設管理業者に委託するため、費用が割高になっている。

浦川委員 介護予防普及啓発事業の内容説明を。また、器具点検や利用者の要望などは定期的に聞いているのか。

健康福祉課長 福祉保健センター内のウォーキングマシンを1台購入予定で、当初予算に計上していたが、機種変更による不足分の補正である。運動教室は管理者がいるので、随時点検し、利用者と話をしていた。だいている。



▲改修予定の赤坂球場外野

梶原委員 高齢者健康サポート入浴委託事業が8月から再開したが、利用状況は。

また、利用時間が17時までとなっているが、少し延長できないか。

健康福祉課長 8月の登録者数は451人、9月1日から5日までの登録者数は14人で合計465人である。8月利用実績は201人である。昨年は月平均51人の利用であった。利用時間については時間内の利用をお願いしたい。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

（委員会構成議員 6人）

委員長 中島 達郎

副委員長 蒲原多三男

▼令和6年度有田町一般会計決算認定及び特別会計決算認定

○歳出 総務費

原田委員 「ありた春フェス」での電動キックボードの試乗体験会のアンケート調査報告を。まちづくり課長 39人の



▲有田町デジタル推進センター

方がアンケートに回答し概ね好評であった。

原田委員 今後の計画は。

まちづくり課長 委託事業者が国の補助を受け、秋頃に内山地区で更なる実証事業を行う予定である。

今泉委員 有田町デジタル推進センターへの事業者の入居状況は。まちづくり課長 3社が入居、従業員数は7人である。

池田委員 従業員のうち有田町民は何人か。

まちづくり課長 1人である。

今泉委員 お試し有田暮らし事業運営委託料の内容説明を。

まちづくり課長 NPO法人へ委託し、有田

でお試し暮らしをする企画を立ち上げ、体験してもらった事業である。この事業を通して有田に興味を持った方は多い。

今泉委員 防災行政無線の戸別受信機購入費の過年度分返還金の内容説明を。

総務課長 戸矢地区から購入申請が26件あったが、うち8件は電波が届かず、受信できなかった。個人負担分1万1千円を徴収していたため、8件分の8万8千円を返還した。なお、防災情報は携帯電話で受信してもらうこととした。

原田委員 結婚活動支援事業の内容説明を。また、実際結婚に至ったケースはあるのか。

まちづくり課長 佐賀県が設置する「さが出会いサポートセンター」への入会金補助である。入会者のその後については、把握していない。

▼有田町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例

今泉委員 部分休業によって、業務に支障が出ることはないのか。

総務課長 始業及び終業の時刻をずらすことが可能な改正内容である。業務に支障が出てくる場合もある。公務の正常な運営を妨げる時は認められない場合もある。

▼有田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

今泉委員 公務の運営を妨げない範囲とあるが、緊急を要する場合、支障があるのでは。

総務課長 これまでの育児休業の部分休業は、一日につき2時間の範囲内で勤務しないこととしていた。職員の育児・介護等に応じた休みを取れるよう、一日の取得時間の制限をなくし、年間10日間とした。



▲防災行政無線戸別受信機



なかしま たつろう
中島 達郎 議員

高齢者の住環境対策

議員

旧佐銀跡地に、普段は高齢者も気軽に集い、ステージを通しての音楽等で、子どもから観光客まで楽しめる、時を寛ぐ天井高470億光年の広場を。

まちづくり課長 内山

地区の賑わいの拠点とする視点で検討しており、高齢者の集いの場としても想定している。



▲旧佐銀有田支店跡地

旧佐賀銀行有田支店跡地を高齢者の集いの場としての活用も

答

高齢者の集いの場としても想定

町長 この場所は多くの方が集う場所。老若男女が集まる場所だと思っている。野外音楽堂の様な交流ができるスポットとしてはイメージしやすく、このような考えで進めていければとも考えている。



▲日比谷野外音楽堂(出典東京都)

様な暑さでは、屋内での熱中症が懸念される。また指定避難所でもあり様々な方が利用するには、快適な環境を確保することが重要で、整備に向けて調査を行い、進めていきたい。
総務課長 避難所である両体育館には冷房設備がないため、夏場の災害時は大変危惧される。このような猛暑の中では空調設備が必要であり、検討したい。

◇その他の質問

・移住定住促進にインフルエンサーの人材育成と西九州させば広域都市圏との連携

詳しくはこの動画で



うらかわ かずひこ
浦川 和彦 議員

畜産農家の現状と課題

議員

飼料高騰の時期と原因は。

農林課長 令和2年4月から続いており、主な要因は、国際的な需要バランスの崩れ、特に中国やロシアの動向と円安である。この要因が複合的に作用し、原材料となる穀物価格を押し上げている。

議員 畜産農家の深刻とされる課題は。

農林課長 飼料高騰による経費の高止まりや異常気象、高齢化と後継者不足である。

議員 飼料費は畜産経営コストの5割以上を占め、原油高騰で輸送代や猛暑による温度管理、電気、ガスの光熱費も大きな負担である。

飼料高騰に対し畜産農家への助成金を

答

飼養数に応じた助成金と手が届かない領域でも支援したい

気候変動や国際紛争は対処できない不可抗力であり、今年の酷暑は家畜だけでなく、過酷な作業で人にも多大な負担である。この状況下では、後継が難しい。畜産農家の実情を踏まえ、助成金の支給を。



町長 国の物価高騰対策を注視し、飼養数に応じた助成金を支給したい。有田の農業では畜産も重要であり、県の支援に手が届か

ない領域でも支援を行いたい。

議員 親元就農制度で農業を親から子孫へと継承する取り組みは。

農林課長 国の新規就農支援策が改正になったが、要件次第では支援が受けられない問題もある。来るべき継承に備える農家子弟育成支援事業に転換できるような内容改正に取り組む。

◇その他の質問

・親元就農支援の年齢制限の繰り上げ
・家族経営や農業女子を活用した支援策
・国産飼料への転換促進など

詳しくはこの動画で





もろくま ようすけ 諸隈 洋介 議員

都市計画道路「泉山・大谷線」の残り区間の再事業の進捗は

答 事業化に向けて進めていきたい

都市計画道路「泉山・大谷線」の残り区間の再事業の進捗

議員 これまでの経緯と進捗は。

建設課長 一期工事は平成20年度から27年度にかけて県営事業として実施され、泉山・大谷線から130m区間が整備を完了した。二期工事予定の120m区間においては平成30年度以降、休止状態である。

議員 町長はこれまで「南原・原宿線」を優先し、その後に「泉山・大谷線」を再度進めたいと答弁された。その考えに変わりはないか。

町長 変わりはない。

議員 この道路は現状では行き止まりになっており、中途半端な状態が続いている。インフラ整備は時間を延ばせば延ばすほどコスト増となるため、早急に進めることが重要。単に「休止」ではなく「段階的な施工」という位置づけとし、確実に完成を目指す姿勢を示すことが、住民の理解や行政への信頼確保にもつながると考える。町長の考えは。



▲現在の泉山・大谷線

態が続いている。インフラ整備は時間を延ばせば延ばすほどコスト増となるため、早急に進めることが重要。単に「休止」ではなく「段階的な施工」という位置づけとし、確実に完成を目指す姿勢を示すことが、住民の理解や行政への信頼確保にもつながると考える。町長の考えは。

町長 優先順位を調整しつつ、事業化に向けて進めていきたい。

有田歴まち再生ファンド事業の進捗

議員 有田歴まち再生ファンド事業の進捗は。

まちづくり課長 現在3件の計画のうち、2件については都市利便増進協定に基づき、有田商工会議所が整備・運営事業者を決定。現在、商工会議所から町に対し事業採択承認申請が提出され、内容確認して助成金交付審査会を開催予定。承認後に助成金交付を行い、事業実施される予定。

議員 古民家再生には不動産の流動性を向上させる施策も必要だ。

詳しくはこの動画で



いわお ただし 岩尾 匡 議員

公共施設管理で今後の課題は

答 学校再編を見据えた管理が必要

町公共施設総合管理計画

議員 これまでの取り組みは。

財政課長 町が所有する施設の町民一人当たりの延床面積が全国平均より高水準となっていたため、縮減する必要がある。クリーンセンター、西公民館、東出張所、赤坂体育館の除却、くわこば保育園の民営化など、この9年間で目標値に近い5.5%の縮減を行った。

議員 今後の課題と実施計画は。

財政課長 直近で中樽町営住宅1・2号棟を議会承認後、令和8年度に解体実施予定、消防団格納庫を29力所から将来的に18力所に統廃合。中学校統合につ

少子化と教育施設の今後

議員 各小中学校のコンスト状況は。

学校教育課長 概ね年間1億円前後で推移している。児童数は令和4年から95人程度減少している。一方で各学校の老朽化が進み、今後も管理費は右肩上がりが見込まれる。

議員 今後の基本方針について特記すべき点はあるか。

学校教育課長 学校再編を見据えた管理である。

1. 計画案などの公表
2. 町民の皆さんからの意見情報の募集
3. 町の考え方の公表
4. 意見・情報の検討 最終的な意思決定

▲パブリックコメント制度の要点

詳しくはこの動画で





池田 栄次 議員

「歴史まちづくり法」地域指定の意向は

答 指定を受け町の発展を図りたい

歴史まちづくり法の
指定申請の意向は

議員 別件の調査過程で「(略称) 歴史まちづくり法」の存在を知った。

この法律の適用を受けると歴史的建造物の維持や工芸品の製造・販売、環境維持、農産物の料理・販売等で幅広い国の支援がある。町は地域指定の意向は。

町長 棚田や唐船城址、龍門峡等の観光活用や維持保全、国指定の伝統的建造物群や泉山磁石場、山辺田窯跡などの貴重な歴史的資源の活用などへの期待も大きい。地域指定の申請には課題も多い。それらを克服し、今後、庁内に横断的な策定体制を整えたい。

法律制定の目的

平成20年に施行された歴史まちづくり法は、正式名称を「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」といい、地域固有の歴史や伝統を反映した活動と、それが行われる歴史的価値の高い建造物や市街地が一体となって形成する良好な市街地環境を維持・向上させることを目的としている。

この法律によって町は、文化財行政とまちづくり行政を連携させ、まちの歴史的風致を次世代に継承するための取り組みを国が支援するものである。関係省庁は、文部科学省、国土交通省、農林水産省である。

法律制定の意義

わが国には城や神社・仏閣などの歴史的価値の高い建造物、その周辺には町家や武家屋敷などの歴史的な建造物が残されている。そこで工芸品の製造・販売や祭礼行事など、歴史や伝統を反映した人々の生活が営まれることで、地域固有の風情・情緒、たまたまいを醸し出している。

しかし、維持管理に多くの費用と手間を要する上に、高齢化や人口減少などで担い手が不足し、歴史や伝統を反映した人々の生活が失われつつある。この法律は、このような市街地環境を維持・向上させ、後世に継承するためにできた法律である。

詳しくはこの動画で



松尾 文則 議員

職員の給与差が生じている

答 民間視点で当たっていく

有田町条例等と現状

議員 町が合併して20年となる現在の給与状況は。

総務課長 概ね調整は整っている。

議員 代決規程・事務分掌規則から見ると、重責順と異なる給与支給が行われている状況が生じている。説明を。

総務課長 有田町職員の給与に関する条例で給与の号給が定められている。人事評価制度、個人の経験や実績等の積み上げで逆転現象も起こりうる。

議員 合併からの両町の給与差が原因だと考える。是正すべきではないか。

町長 民間の視点を持つて、給与・人事面に

当たっていく。

議員 近年の物価高に伴い、現条例では職員の公務出張旅費が足りないのではないかと。

総務課長 ビジネスパツク等に対応している。

議員 条例改正をすべきでは。

町長 慎重にはあるが積極的に進める。

畜産農家の支援

議員 エンテロコッカス・セコラムについて説明を。

農林課長 肉用鶏脊椎膿瘍等に関する菌で、起立不能、歩行困難等が見られ、死亡等が増加する病気である。

議員 10%程が死亡し、経営を圧迫している。防疫に向けた調査・研

究を県に要請すべきでは。

農林課長 県を始め、関係機関に相談している。

議員 町として補助金支給は。

町長 国・県の補助で対応できないところは検討する。



▲鶏舎の様子

◇その他の質問
・有田町職員提案制度実施要綱について
・農業経営基盤強化促進法について

詳しくはこの動画で





はらだ かずひろ
原田 一宏 議員

重層的支援体制整備事業での

社協との連携は

答

共同歩調を取りながら
継続的支援を進めていきたい

重層的支援体制整備事業

議員 重層的支援体制整備事業とは。

健康福祉課長 「相談支援・参加支援・地域づくりに係る事業」を一体的に実施することで、地域生活課題に対する支援体制などを一体的かつ重層的に整備するもので、一つの支援機関だけでは解決しにくい複雑で複合的な課題を持つ方（家族）をサポートするための体制を作る事業である。

議員 移行準備事業ではどのようなことをするのか。



▲有田町社会福祉協議会

が困難な事例について、役割分担や調整を行う多機関協働の取り組み・継続的支援の取り組みを行う。

議員 庁舎内の連携や関係団体との連携は。

健康福祉課長 健康福祉課内に高齢者・障害・生活困窮・健康の窓口があり、子育て支援課も福祉保健センター内にある。また、各課

窓口とも連携は取れている。社協との関係は、事業実施に向け、委託業務契約を取り交わしており、アウトリーチ等を通じた継続的な支援事業で取り組んでいただくとことなっている。全体的に共同歩調を取りながら進めていきたい。

議員 今後のスケジュールは。

健康福祉課長 今年度移行準備事業を実施しながら、課題の把握、必要手段の検討、関係機関の情報共有方法など包括的な支援体制整備に向け、事業を実施していく。

詳しくはこの動画で



ひわたし 樋渡 とおる 徹 議員

建物被害が予想される

立木伐採の補助は

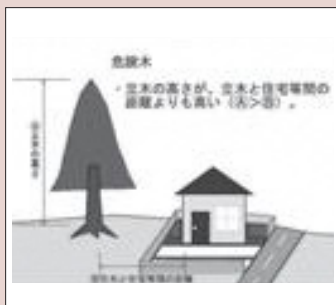
答

地目が山林の場合のみ適用

倒木の建物被害対策

議員 建物に隣接する想定外に伸びた立木が、台風や大雨時の倒木で被害が予想される実態把握はされているか。

農林課長 県が策定する地域森林計画図に載っているもの以外は把握していない。



議員 事前伐採に森林環境譲与税についての、使途の適用は。

農林課長 税の法律に基づき、間伐等の森林

年度	譲与額	事業費	基金増上 （繰上り金）	基金残高
令和元年	2,390,000	2,145,000	2,393,000	248,000
令和2年	5,082,000	455,000	5,087,000	4,380,000
令和3年	4,457,000	699,000	4,663,000	3,344,000
令和4年	6,284,000	10,271,000	6,293,000	4,366,000
令和5年	6,284,000	821,000	4,290,000	9,835,000
令和6年	8,118,000	810,600	8,134,600	17,159,000

栽も推奨されているが、広葉樹苗木の配布や立木伐採後の植林義務については。

農林課長 広葉樹苗木の配布は考えていない。また、持ち家保護のための伐採後の植林の義務は、発生しないと考えられる。

町内在住の外国人

議員 町内在住の外国人の人口は。

住民環境課長 令和7年4月1日現在、20カ国228人。就労目的の外国人数は、160人で、男性76人、女性84人である。

詳しくはこの動画で





まつなが としかず
松永 俊和 議員

飛灰・残渣の受け入れはいつまで 続けるのか

答 現状の見込みで、令和11年度末まで

最終処分場（クリーン パーク有田）

議員 令和5年9月議
会でも技術管理者の後
継者育成・職員配置を
お願いしたが未だにで
きていない。早急に対
応を。

総務課長 町全体の業
務など考慮し、検討し
なければならぬ。い
つとは明言できないが、
特に専門技術者の配置
については、各課の状
況を踏まえ配置を行う。

議員 飛灰・残渣の受



▲最終処分場

け入れはいつまで続け
るのか。

住民環境課長 毎年の
埋め立て容量によって
異なるが、現状の見込
みでは令和11年度まで
と思っている。

議員 令和11年度で終
わってほしい。最終処
分場跡地について「跡
地利用等委員会」の立
ち上げを検討してほし
い。

住民環境課長 埋め立
て終了後、土壌が自然
環境との差が無くなる
まで、早くて2～5年
かかる。次期尚早と考
える。

議員 地元区長や生産
組合長などは、2年毎
に交代され、町との約
束ごとの内容が正し
く伝わっていくのか
が心配である。地元で
は当時の約束ごとを知

っている方も段々と少
なくなっている。□約
束だけでは心配してい
る。処分場の環境も発
足当初から変化してい
る。町長にとっては些
細な約束ごとでも地元
住民は大きな問題であ
る。□頭の答弁では改
善できない。利用期限
や約束ごとなどについ
て覚書・誓約書を作成
し、取り交わしては。

町長 しっかり内容を
精査・検討し、協議し
て覚書を交わしたい。
住民との約束ごとに大
小はないと思っている。
できることはすべや
りたいし、できないこと
はできないと伝えてい
る。

詳しくは
この動画で



伝統的建造物群保存地 区の防災・延焼問題



くぼ た ゆた
久保田 豊 議員

議員 新しく延焼防止
水幕防御システムの訓
練もあり、まだいろい
ろな対策が必要と思う
が今後の対策は。

文化財課長 内山地区
の防災計画は、重要な
課題と認識している。
令和5年度と6年度の
2力年にわたって内山
地区の防災計画を策定
し、住民の生命、身体、
財産を災害から保護す
ることを基本とし、町
並み景観を将来にわた
って保存継承し、内山
の歴史的な景観を活か
したまちづくりを推進
する。

今後策定した計画に
基づいて、緊急性や効
果を考慮し、初期消化
が重要で住民が操作で

伝統的建造物群保存地区の防災・ 延焼問題の対策は

答 消火栓や水幕防御システムの増強

きる消火栓や水幕防御
システム増強と小型可
搬式ポンプ等の整備が
まず必要と考える。



▲内山地区風景

議員 防災井戸の対策
は。

町長 災害時協力井戸
という観点から、各地
域の区長会等を通じて
各区長さんに協力をお
願いし、調べていき
たい。防災井戸は必要で、
担当課、関係課と進め
ていく。

議員 避難所の今後の
設備対策は。
総務課長 町の指定避
難所は12力所で、最大
収容人数は現在250

0人となっている。常
設のトイレは、多目的
トイレも含め57基。長
期化した場合、基準は
満たしていないため、
万が一に備え、携帯ト
イレ等2300個備蓄
している。

また、体育館の施設
は空調がなく、夏場の
災害時を危惧しており、
早急な設備の検討が必
要である。

◇その他の質問
・信号機がない横断歩
道での一時停止（人
が立っている時）問
題
・学校の統廃合
・避難所としての新校
舎の考え方は

詳しくは
この動画で





てつか ひでき
手塚 英樹 議員

高齢者世帯へのエアコン設置と 修理の補助を

答 町に合った補助を検討する

コン補助に取り組んでいる。今後検討したい。町長 取り組んでいる市町の状況を聞き、町に合った補助を検討する。

高齢者熱中症対策

議員 異常な猛暑は命に係わる暑さである。他自治体でも取り組んでいる、高齢者世帯へのエアコン設置と修理の補助を。



▲太宰府市の取り組み

健康福祉課長 町の高齢者世帯のエアコン設置状況は、概ね8割から9割が設置されている。ただ電源を切っている方もいる、そこを苦慮している。県内の自治体では、みやき町、基山町、神埼市がエ

JR佐世保線の今後

議員 フル規格新幹線で武雄温泉駅から新鳥栖駅間が開通すればJR武雄温泉駅から佐世保駅は

①JR九州で運行
②上下分離方式
③第三セクター方式
が考えられるが、JR運行で継続するためには、佐世保を含む西部地区の連携が必要となるが。

町長 長崎県北部・佐賀県西部の12市町で構成する西九州させば広

新中学校の建物

議員 新中学校を、小城市舎のような再生可能エネルギーで自給自足できる防災機能を強化した建物を検討している。

教育長 学校は電力消費量が大きい、再生可能エネルギーによる自給自足も検討していきたい。

詳しくはこの動画で



観光客誘致対策

議員 町内飲食店には、有田焼職人が描いた、古伊万里文様の車が展示してあり人気を博している。

今度新たに導入するコミュニティバスに、古伊万里紋様や色鍋島紋様、柿右衛門様式等、伝統ある有田焼の絵柄を施して、インスタ映え等の情報発信に繋げ、観光客の誘致促進を図ってはどうか。

まちづくり課長 新車両のデザインは、町民に地域公共交通に関心を持ってもらうことを目的として、親しみやすいデザインを有工生を対象に公募している。

議員 コミュニティバスは、平日は町民の買



かじはら さだのり
梶原 貞則 議員

コミュニティバスに インスタ映えの有田焼の文様を

答 今後観光という目線でも考えていきたい

いきたい。

防災対策

議員 コロナ禍以前は各地区で防災訓練が行われていた。現在の防災訓練の状況は。

総務課長 令和6年度は3地区で行われている。

議員 阪神淡路大震災時、地域の絆が強い地区では、お互いの助け合いにより助かり、また疎遠な地区では被災者や死者が多かったとのこと。日頃の備え、地域の絆の強化のためにも、防災訓練の推奨を望む。



▲有田焼職人が描いた古伊万里文様の車

後、観光という視点でもデザイン等を考えて

詳しくはこの動画で



建設課長 センター
インのない幅員の道路



▲前方が、町道川ノ上・土蔵線

議員 国道35号から楠木原公民館までの道路は、途中にカーブや車の離合困難箇所があり、児童生徒の登下校時危険と感じる。安全対策として、道路の拡幅と歩道設置ができないか。

町道川ノ上・土蔵線



福島県議会 議員 福島日人士

答

現状では道路改良は考えていない

町道に道路拡幅と歩道設置を

であるが、令和4年度に楠木原の区長より地元要望書として、道路下への転落防止のためガードレール設置、スピードを出して走る車への対策として、車道外側線の引き直しの二点が提出されている。この要望に対しては、令和5年度に対応済みである。

外側線については、運転者に対して視覚的に減速を促すように引き直しを行っている。これ以降、地元からの区間の交通安全に関する要望はない。

歩道設置の要望は地元の総意の下で用地提供などの協力が必要。ただし、今以上に利用者が増えない限りは、現状では拡幅や歩道設置は考えていない。

高齢者の健康維持

議員 要介護認定区分3以上の高齢者に対する健康維持の対応は。

健康福祉課長 在宅サービスの利用者は、サービス提供事業者が健康状態を確認して、サポートをしている。健康の問題がある場合は、訪問看護サービスを含め、健康維持に努めている。

なお在宅の場合は、ご家族に対して、家族介護教室への参加案内もしている。

施設入所者の健康管理については、施設内で行われている。

詳しくはこの動画で



◆欠員による文教厚生常任委員会 委員長及び副委員長選任

9月2日(火)、文教厚生常任委員会の互選により委員長に松永俊和氏を選任した。また、副委員長に梶原貞則氏を選任した。

文教厚生常任委員会は、教育、文化、福祉、医療、子育て、地域福祉の充実など、町民生活に直結する重要な課題を所管している。人口減少や少子高齢化、子育て世代の定住支援、教育環境の整備、福祉の充実など、取り組むべき課題は山積している。

松永委員長は「委員長として、委員各位の意見を尊重しつつ、公平・公正な委員会運営に努める所存である。そして、町民の皆さまの声に耳を傾け、未来を担う子どもたちから高齢者の方々まで、誰もが安心して暮らせるまちづくりに資する議論を深めてまいりたい。」と話した。

◆欠員による議会運営委員会 委員選任

9月2日(火)、議長の指名推選により議会運営委員に松永俊和氏を選任した。

議会運営委員会は本会議の円滑かつ公正な運営を担う重要な役割を負っており、議会が町民の負託に応えるために、透明性と公開性を確保し、活発で建設的な議論を展開することが不可欠であり、全議員が活動しやすい環境を整えることが務めである。

◆欠員による伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員補欠選挙

9月2日(火)、選挙の結果、伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員に梶原貞則氏が当選した。

◆欠員による伊万里・有田地区衛生組合議会議員補欠選挙

9月2日(火)、選挙の結果、伊万里・有田地区衛生組合議会議員に松永俊和氏が当選した。

◆「地方創生伴走支援制度」で派遣された支援官との意見交換会



◀ 中小企業庁、観光庁、総務省より各 1 人ずつ選ばれた伴走支援チーム
(写真正面奥の 3 人)

▲令和 7 年 7 月 31 日(木) 議員控室

各府省庁の職員が、これまでの経験等を活かして、自らの仕事を行いつつ、地方創生に携わり、課題を抱える自治体に寄りそった伴走支援を実施する「地方創生伴走支援制度」。この事業で派遣された支援官との意見交換会を行った。窯業・農業の振興と後継者問題、観光インバウンド対策、産業マッチングといった町の課題に対し、国の専門的な知見と「よそ者視点」による新しい風が吹き込まれることが期待される。

今回、町が「地方創生伴走支援制度」に採択され、国の専門的な知見を持つ 3 人の支援官を迎えることができたことを、大変心強く思っている。町も数多くの課題を抱えているが、こうした課題に対して国の専門的な視点や地域外からの「よそ者視点」で検証しながら解決の方向性を導いてもらいたい。今回の支援を一過性のものに終わらせるのではなく、町内の若い世代や事業者が主体となって自走できる仕組みを築き、未来へとつながる地域モデルを国や町とも一緒に形づくっていききたい。

◆第 7 回議員定数等調査特別委員会（令和 7 年 7 月 25 日）

議員のなり手不足を解消するため等の適正な議員報酬について 4 月から協議を開始した。報酬額については、議員の活動量と首長の活動量を比較し、首長の給与にその割合を乗じて算出する「原価方式」により協議を進めた。今回、各議員から提出された活動実績表により年間の議員活動日数を推計し、原価方式により議員報酬額を算出した結果、現状より増額となった。

この特別委員会においては、議員報酬を増額すべきであるとの結論を全委員で確認し、有田町特別職等報酬審議会の開催について、町長へ依頼することを決定した。

◆第 8 回議員定数等調査特別委員会（令和 7 年 8 月 18 日）

7 月 25 日、正副議長から町長へ特別委員会の結果報告を行った。また、8 月 8 日付けで、報酬審議会において議員報酬を審議いただくよう町長へ依頼文を提出したことを報告し、閉会した。

◆発議第 2 号 地方財政の充実・強化を求める意見書

2026 年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調にも対応する人件費の確保を含めた地方財政を実現することを求めた意見書を国へ提出した。

◆総務常任委員会行政視察

北海道白糠町・釧路町・釧路市

令和6年度ふるさと納税額が、約211億6千万円の白糠町。令和4年に実施された、リクルート SUUMO による住民実感調査において、道内の子育て充実度自治体ランキングで1位に輝き、子育て応援日本一の町を目指している。独特な事業では、出産祝い品に、赤ちゃんの防災備蓄セットを支給している。

場所：白糠町役場



場所：いづみ公園避難タワー（出典：釧路町）



釧路町では、防災・減災の取り組みとして、垂直避難が可能な避難タワー4棟の整備に、令和5年度から着手した。現在、高さ約10m、平均収容数約460人の施設が3棟完成した。今後想定される最大震度7、建物全壊1,900棟、人的被害5,700人（人口の31%）と推測される「日本海溝・千島海溝周辺海溝型巨大地震」により津波が発生した場合、いつでも避難できるように備えている。

タンチョウ鶴が交流人口に協力

日本ではナベヅル、マナヅル、タンチョウの3種類の鶴がよく見られる。国内に1年中生息し、子育てするのはタンチョウ鶴だけであり、釧路市阿寒町の道の駅「阿寒丹頂の里」にある宿泊施設には、1年中同じ場所に生息するタンチョウ鶴の生態を観察し、カメラに収めるプロカメラマンが、毎年長期間に渡って宿泊し、施設の運営に貢献している。

場所：阿寒丹頂の里会議室



= まとめ =

平成13年まで北海道開発庁が置かれていたが、現在は国土交通省の下、農林水産部も含む北海道開発局が置かれた。道内の農山漁村の活性化に貢献する住民主体の活動「わが村は美しくー北海道」が行われている。訪れた1市2町の特徴あるまちづくりが大いに参考になった。

総務常任委員会

委員長	中島 達郎	副委員長	蒲原多三男
委員	久保田 豊	委員	原田 一宏
委員	池田 榮次	委員	今泉藤一郎

藤 誠 一 郎 議 員 急 逝



藤誠一郎議員が、令和7年7月26日、享年75歳で永眠されました。

平成11年に旧有田町議会議員に初当選されて以来、7期連続で当選され、26年2カ月の間、有田町発展に向け貢献されました。

追悼の詞

7月27日の朝、突然、藤議員の訃報に接しました。前々日の午前には伊万里・有田地区衛生組合議会、午後は議員定数等調査特別委員会に出席され、その際には声をかけても何時ものような元気があらませんでした。夕方には電話で話をして、無理をしないでとお伝えしました。

急 逝

これまでに、産業建設常任委員長、文教厚生常任委員長を複数回務められました。それに伊万里・有田地区の衛生組合や医療福祉組合の議員として、卓越した政治手腕を発揮し、活躍されました。

これらの功績が評価され、県政功労者知事表彰や全国町村議会議長会からの表彰など数々の栄誉を受けられました。

来年、合併して20周年を迎えますが、藤議員からの助言、提言をいただき、より良い町づくりを目指したかったので残念でなりません。

私も議員一同、藤議員が残された、ご功績とご意思を深く銘記し、有田町発展に向けて努力していくことをお誓い致します。

藤議員の安らかなるご冥福を心より
お祈り申し上げます。

藤議員、お疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

有田町議会
議長 今泉藤一郎
合 掌

■議長交際費支出状況（令和7年7月～9月）

項目	件数	支出額(円)	備 考
会費	3	12,950	有田商工会議所通常議員総会懇親会費他2件
雑費	2	88,000	有田町平和祈念式典供花代ほか1件
合計	3	100,950	

有田町議会
HPはこちら



あ と が き

議会広報「議会だより」の役割は、議会の活動を町民にわかりやすく伝えることであり、そのために広報委員会は年に一度、議会広報クリニックで専門的な診断を受けている。今回は一般質問の報告を「読みやすく、最後まで読んでもらえる紙面」を作るため、文字数を1000文字から600文字に抑え、要点をまとめることに挑戦した。

実際に文章を短くすることは、かなり難易度が高い。

また、内容の詳細については二次元コードを読み取る形で動画の配信をすることになるが、反応が気になるところである。

和彦

議会広報発行特別委員

委員長 諸隈 洋介
副委員長 樋渡 徹
委員 浦川 和彦
委員 岩尾 匡
委員 久保田 豊
委員 中島 達郎